

JAバンク山形県における地域密着型金融 の取組状況について (平成26年度)

農林中央金庫 山形支店

- JAバンク山形県(県内17JAと農林中央金庫山形支店)では、農業と地域社会に貢献するため、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。
- この度、平成26年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1. 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援
(JAバンクの農業メインバンク機能強化への取組み)
・・・P.4
2. 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援
・・・P.10
3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した
資金供給手法の提供
・・・P.14
4. 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等
地域育成への貢献
・・・P.17

1. 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援（JAバンクの農業メインバンク機能強化への取組み）

JAバンク山形県は、地域における農業者との結びつきを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っております。

1-(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

- JAバンク山形県は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 平成27年3月末現在のJAバンク山形県の農業関係資金残高(注1)は451億16百万円で、日本政策金融公庫の受託貸付残高(注2)は26億27百万円を取り扱っています。

(注1) 農業関係の資金残高とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JAバンク山形県が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】 (単位:百万円)

営農類型	平成27年3月末
穀作	14,906
野菜・園芸	2,320
果樹・樹園農業	2,368
工芸作物	32
養豚・肉牛・酪農	6,273
養鶏・鶏卵	16
養蚕	2
その他農業(注1)	19,200
合計	45,116

(注1)「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

【資金種別別農業資金残高】 (単位:百万円)

種類	平成27年3月末
プロパー農業資金(注1)	34,942
農業制度資金(注2)	10,174
うち農業近代化資金	2,131
うちその他制度資金(注3)	8,043
合計	45,116

(注1) プロパー農業資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

(注2) 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給を行うことでJAバンクが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資しているものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。

(注3) その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

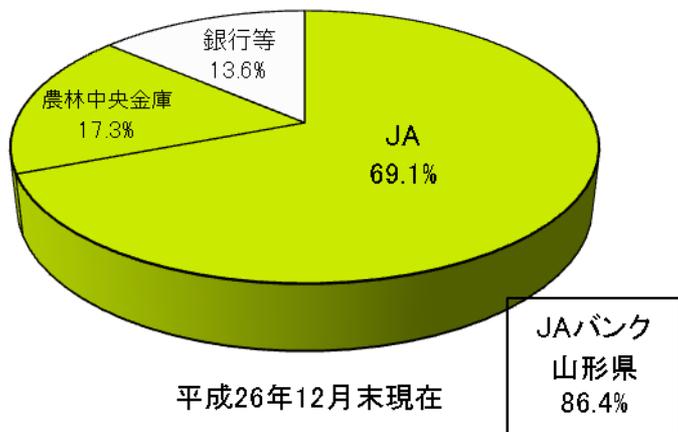
【農業資金の受託貸付金残高】 (単位:百万円)

種類	平成27年3月末
日本政策金融公庫資金	2,627
その他	0
合計	2,627

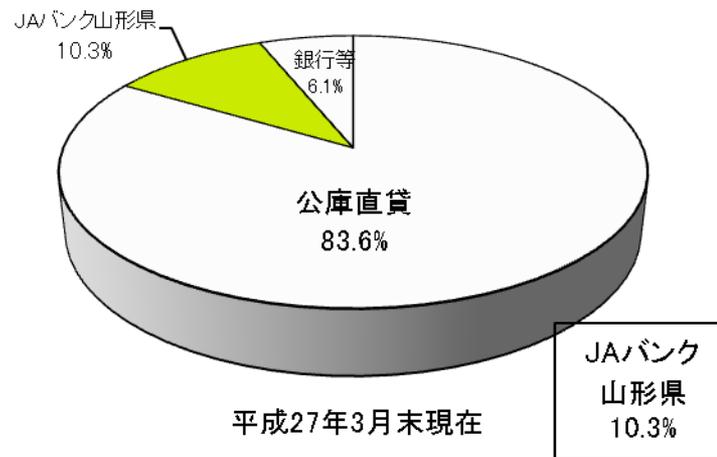
(注) JAバンクでは、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付を取り扱っています。

JAバンク山形県は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫農業資金(公庫直貸除く)の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

農業近代化資金 融資残高のシェア
(県内)



日本政策金融公庫 農業資金取扱残高のシェア
(県内)



1-(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

- JAバンク山形県では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。
- JAでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内17JAの本店には25人の「担い手金融リーダー」が設置され、支店の活動をサポートしています。
- 農林中央金庫山形支店では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。
- また、平成23年度に創設された「JAバンク農業金融プランナー」の資格試験に取り組み、県内全JAにおいて、計180名が資格を取得しています。

2. 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

JAバンク山形県は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っております。

2-(1) 新規就農者の支援

- JAバンクでは、平成22年度から「新規就農応援事業」として、新規就農希望者(研修生)の育成を行う農家等に対する費用助成を行っています。平成26年度は本県で4件・480千円の計画を受け付けるとともに、前年度受付分として6件・670千円の助成金を交付しました。

2-(2) 経営不振農家の経営改善支援

JAバンク山形県では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に取り組んでいます。

(単位:先)

債務者区分	期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画の策定先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	事業計画策定率 =a/A	ランクアップ率 =b/A
正常先	6	3		5	50.0%	
要注意先	117	1	15	94	0.9%	12.8%
破綻懸念先	98	38	12	80	38.8%	12.2%
実質破綻先	75	16	5	66	21.3%	6.7%
破綻先	2	0	0	2	0.0%	0.0%
計	298	58	32	247	19.5%	10.7%

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成26年3月末時点です。

2-(3) 講演会・セミナー等の開催

JAバンク山形県では、農林中央金庫山形支店の融資先のお取引先様や系統団体等を招いたセミナーを開催しています。

【セミナー開催実績】

セミナー名	参加対象者	参加者数	主催者 共催者	講演内容
6次産業化セミナー (平成26年11月20日)	農業法人・ 食産業関 連団体・系 統関係者	約70名	【主催】 農林中央金庫 山形支店 【共催】 ・山形県農業 法人協会 ・やまがた食産 業クラスター協 議会 ・やまがた農業 支援センター	【第1部】 <講演>「ローソンの再建事例に学ぶこれからの企業経営」 <講師>元ローソンジャパン代表取締役 全日本農商工連携推進協議会会長 都築富士男氏 【第2部】 パネルディスカッション「地域創生と地場産業」 【取組PR】 「JAバンクにおける農業金融取組みについて」

3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、 担い手に適した資金供与手法の提供

JAバンク山形県では、担い手の経営実態やニーズの適した資金の提供に努めています。

3-(1) 負債整理資金の提供による 償還負担の軽減支援

JAバンク山形県では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成26年度負債整理資金の貸出実績】

資金名	平成26年度実行件数 (単位:件)	平成26年度実行金額 (単位:百万円)	平成27年3月末残高 (単位:百万円)
農業経営負担軽減支援資金(注1)	1	9	115
畜産特別資金(注2)			365
その他	2	7	1,965
合計	3	16	2,445

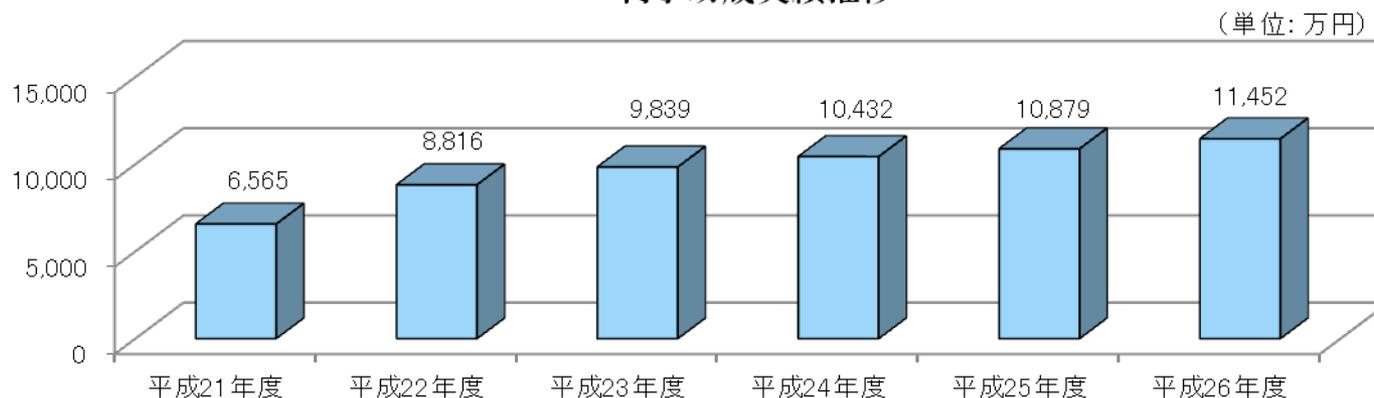
(注1) 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

(注2) 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

3-(2) 農業融資への利子助成

- JAバンク山形県が融資する農機ハウスローン、スーパーS資金、農業近代化資金等の融資に対して、農業振興等に貢献するための事業を展開するために創設されたJAバンクアグリ・エコサポート基金が最大1%の利子助成を行い、農業の担い手への支援を行っております。
- 平成26年度は、県下17JAの農業資金について、6,424件、1億1,452万円の利子助成を実施しました。

利子助成実績推移



4. 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンク山形県では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

4-(1) 災害被災者への支援

JAバンク山形県では、自然災害等による被害を受けた農業者を支援するため、災害対策窓口の設置、山形県の災害対策資金への上乗せ利子補給、独自災害対策資金の創設、個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等の対応を行っております。

【被災者・生産資材高騰等への支援資金】

取組事例	件数 (単位:件)	貸付実行金額 (単位:百万円)	内容
山形県農林漁業天災対策資金 (大雨)	1	1	JAバンク山形県では、平成26年7月9日から10日にかけての大雨により、農産物や農業施設に被害を受けた組合員に対し、行政の利子補給とJAグループの利子補給により無利子の資金を対応しました。
山形県農林漁業天災対策資金 (降雹)	18	34	JAバンク山形県では、平成26年8月22日の降雹(ひょう)及び強風により、農産物や農業施設に被害を受けた組合員に対し、行政の利子補給とJAグループの利子補給により無利子の資金を対応しました。
平成26年米価下落対策緊急資金	742	922	平成26年産米の概算金の大幅な減額および経営所得安定対策の見直しにより経営に影響を受ける稲作農家に対し、再生産および経営維持のため、行政の利子補給とJAグループの利子補給により無利子の資金を対応しました。
平成26年生産資材等高騰緊急対策資金	35	78	燃油価格や飼料価格の高騰が続いていることから、施設園芸をはじめ、畜産、菌茸栽培経営の再生産と経営安定に必要な資金を、行政の利子補給とJAグループの利子補給により無利子で対応しました。
合計	796	1,035	

4-(2) JAバンク食農教育応援事業の展開

- JAバンク山形県は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。
- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、県下の約290小学校へ約1万3千セット配布され、学校の授業等において活用されています。



写真左:教材本「農業とわたしたちの暮らし」

写真右:教材本「農業とわたしたちの暮らし
(特別支援教育版)」

(注) このほか、JAバンク山形県などのJAグループ山形では、山形県の理解を深めてもらうための「いのちを育む山形県の農業」の配布を行っております。

また、県下JAでは、子どもを対象とした食農教育を中心とする教育実践活動にも取り組んでいます。

JA名	活動主体	活動名	内容
山形市	JA	けやきっこ米作り学習田	管内小学校5年生を対象とした稲作体験と収穫祭。
		山形の農業と自然を学ぶ親子講座	山形の農業と自分でできる地産地消や省エネを、管内の小学生親子が学び合う。
やまがた	JA	わんぱくアグリスクール	管内小学校3～6年生を対象とした農業体験スクール。
さがえ西村山	JA	「ごはんちゃわん」贈呈	管内小学校5年生への「ごはんちゃわん」の贈呈と、「食と農のかかわり及びJAの役割」についての講話。
		「つるり里芋栽培セット」贈呈	管内小学校への地元特産「つるり里芋」栽培セットの贈呈。
みちのく村山	青年部	バケツ稲栽培体験活動	管内小学生を対象としたバケツ稲栽培体験と収穫祭。
		水稲栽培体験活動	管内小学生を対象とした稲作体験と収穫祭。
新庄もがみ	JA	「ごはん・お米と私」作文・図画コンクール	管内小中学生を対象とした作文・図画のコンクール。
金山	JA	もちつき体験教室	幼稚園児・地区住民を対象としたもちつき体験。
真室川	JA	学校給食への食材の無償提供	管内小中学校給食への促成野菜の無償提供
		昔ながらの米づくりの挑戦！サトイモで芋煮をつくろう！！	管内小学生を対象にした、昔ながらの米づくり体験とサトイモ栽培体験、および芋煮づくり。
		「ごはん大好き・やさい大好き」	管内園児を対象とした米づくり・野菜づくり体験。
		伝統野菜を育て、地域の食文化を探る	管内小学生を対象とした伝統野菜栽培体験。

JA名	活動主体	活動名	内容
さくらんぼひがしね	JA	果樹王国ひがしね農業体験スクール2014	管内小学校3～6年生を対象とした、いちごとトマトときゅうりの収穫体験、サンプリング、学習会、昼食会。
		地産地消 子ども料理教室	管内小学校3～4年生を対象とした、地元食材の料理教室と農業に関する勉強会。
		農業少年クラブ	管内小学校1～6年生を対象とした農業体験。
		「みんなのよい食」ポスターコンクール	管内小学校4～6年生を対象としたポスターコンクール。
		百姓寺子屋活動	管内小学校3～5年生を対象とした農業体験。
山形おきたま	JA	アグリスクール「ちゃぐりんキッズクラブ」	管内小学生を対象とした農業体験スクール。
	青年部	食農教育活動事業	管内小学生を対象とした稲作・畑作体験。
鶴岡	JA	稲作体験教室	管内小学生を対象とした稲作体験と収穫祭。
庄内たがわ	農政対策推進協議会	作文・図画コンクール	管内小中学生を対象とした、「ごはん・お米」にかかわる図画と作文のコンクール。
あまるめ	JA	稲作体験教室	管内小学生親子を対象とした稲作体験と試食会。
そでうら	青年部	お米学習教室	管内小学校3・5年生を対象とした稲作体験。